

令和5年7月18日

記者発表資料

(県政記者クラブ、横須賀市政記者クラブ、鎌倉市広報メディアセンター同時発表)

生粋の「相模のとらふぐ」、産まりました！

県水産技術センターでは、かながわブランドに登録されている「相模のとらふぐ」について、本県沿岸で獲れた親魚から、稚魚を生産する技術の開発に成功しました。

このたび、生産した稚魚の放流を行いますので、お知らせします。

1 生粋の「相模のとらふぐ」の生産について

現在、県では、県外の親魚から採れた卵を使用して稚魚を生産していますが、今回の成功を踏まえ、今後、安定的な稚魚の確保に向け、県内産親魚からの稚魚の量産化に取り組んでいきます。

2 稚魚の放流について

(1) 日時

令和5年7月25日(火曜日) 10時

(2) 場所

長井漁港内の長井町漁業協同組合前(横須賀市長井5丁目24番6号)

(3) 放流尾数

約4,000尾

当日は、現地で10時から11時まで取材・撮影等が可能です。取材を希望される方は、前日の17時までに、県水産技術センターへ御連絡ください。

(添付資料) トラフグ親魚、稚魚等の写真

問合せ先

神奈川県水産技術センター

所長 滝口 電話 046-882-2311

企画研究部長 一色 電話 046-882-2313

資源管理課長 田島 電話 046-882-2314

神奈川県環境農政局農水産部水産課

課長 山本 電話 045-210-4530

水産企画グループ 仲手川 電話 045-210-4542



採卵に用いた横須賀市長井産のトラフグ親魚(雌)



トラフグの未受精卵(直径約1mm)



ふ化直後のトラフグ仔魚※(全長約3mm)



放流可能サイズ(全長4cm)まで育ったトラフグ稚魚

※ 仔魚(しぎょ):ふ化直後から親に近い姿の稚魚になるまでの間の子供のこと